

高精度位置認識技術の研究開発

国民生活の安全・安心等、様々なシーンで貢献する高精度の測位サービスの実現に向けて、準天頂衛星の打ち上げに伴う衛星系の位置情報信号の受信エリアの拡大に併せ、地上系の位置情報信号や端末技術との連動により、広いエリアにおける高精度の位置認識技術の研究開発を実施する。

1 施策の概要

- (1) 総務省では、あらゆる場所において人の活動やモノの動きをサポートする情報の取得や提供を実現するために、場所とこれに関連づけられた情報（場所情報）に注目して、詳細な場所を特定できるコード（空間コード）の体系化とともに、当該コードの利用技術（ユビキタス空間情報基盤技術）の研究開発を実施しているところである。
- (2) 上記研究開発により、衛星測位信号や電子タグ等の情報の緯度・経度や相対距離など位置の表現形式の違いを吸収することで、場所及び場所情報を統一的に取り扱うことが可能になるが、位置情報信号の違いによる位置精度の差を解決することはできない。
- (3) そのため、本研究開発では、端末の外部にあるセンサーの情報を収集・解析しばらつきが少なく精度の高い位置認識を実現する技術、自立航行型測位により得られた位置情報を効果的に補正する技術を開発し、これらの技術により得られる位置情報と準天頂衛星により補完され建物等による遮蔽の影響が少ない衛星測位信号を統合することで、衛星測位信号を受信できる場所に留まらない広いエリアで精度の高い位置情報を取得できる位置認識技術の研究開発を行う。

2 イメージ図

